

2005 年度

細川 悔しい48位

世界選手権 (フィンランド:ヘルシンキ)

細川道隆

マラソン 2時間24分38秒 (48位)

細川(大塚製薬)は、持ち前の勝負強さを発揮することなく、2時間24分38秒の48位。惨敗だった。ゴール後「情けないというか悔しい」と声を絞り出した。7キロ付近で先頭集団から遅れ、日本の他4選手を後ろから追う屈辱の展開。硬いアスファルトやすき間の多い石畳というタフな路面も左足首痛の細川を容赦なく襲い、20キロ地点でトップと2分30秒差の61位。順位

争いからも脱落した。男子では少数派の高地下レーニングに取り組み、昨年2月の初マラソン(東京国際)でいきなり2時間10分38秒の6位。今年3月のびわ湖毎日では2時間9分10秒で3位に入るなど順調に成果を出してきた「申し子」は3度目のマラソンで初めて挫折を味わった。3年前、陸上部が廃部されたNTT西日本から大塚製薬に移籍。治療や食事の

支援態勢の充実で故障が減った。また、廃部後も同好会で競技を続けるNTT西日本時代の元同僚に刺激され、上昇機運をつかんだ。主役どころか脇役にもなり損ねた初の世界舞台。「応援してくれるみんなのために」と完走だけは果たした。故障を克服してきた粘りと、この日の悔しさを胸に、北京五輪に向けた険しい坂道はい上がるしかない。

48位 細川「悔しい」声絞り出す



男子マラソンでスタートする細川(ゼッケン518) =ヘルシンキ (時事)